

科学研究費補助金（学術創成研究費）研究進捗評価結果

課題番号	19GS0211	研究期間	平成19年度～平成23年度
研究課題名	統合国際深海掘削計画（IODP）研究の推進：国際的リーダーシップの確立		
研究代表者名 （所属・職）	巽 好幸（海洋研究開発機構・地球内部ダイナミクス領域・プログラムディレクター）		

【平成22年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（評価意見）

本研究は、統合国際深海掘削計画（IODP）を主導し、地球システム変動の包括的理解を目指すものである。特に、我が国は最新鋭のライザー掘削船「ちきゅう」を提供・運営し、本研究で、

- (1) 海溝型巨大地震発生メカニズムの解明
- (2) 大陸形成過程の理解
- (3) 巨大マントル上昇流と地球環境変動の解明
- (4) マントルへの到達

を目指している。いずれも高い水準の先駆的課題ばかりであるが、既に順調に多くの研究成果が挙げられており、目標の国際的なリーダーシップの確立が期待される。

大規模研究計画 IODP の一部である本研究が、全体計画にどのように位置付けられているのか、特に経費面で両者の関連を明確にすることが望まれる。